

検査項目

※過去の病歴、ご体調などにより一部変更となる可能性がございます。

■基本検査

診察	今までの病歴や現在の状態を伺い、身体の診察をします。
身体測定	身長・体重・血圧・腹囲・握力・聴力・視力を測定します。
尿一般定性検査・尿沈査	身体の健康状態を調べる尿検査です。
便潜血検査	大腸がんなどがあると、便に血液が混ざることがあるため、便に血液が潜んでいないかを調べます。
眼底検査・眼圧測定	眼底は、眼の奥の状態を眼底カメラで撮影し、検査します。眼圧は、眼に触れない眼圧計で測定します。緑内障・網膜剥離などの眼の病気だけでなく、全身の健康状態を推しはかる指標にもなります。

■循環器

心電図検査	心臓の動きを電気信号でとらえる検査です。
血圧脈波測定	血管の硬さや詰まり具合を測定し、動脈硬化の進行度を知ることができます。
頸動脈超音波検査	首に超音波を当て、脳につながる大切な血管(頸動脈)の動脈硬化が進行していないかを調べます。頸動脈の血管壁の厚さ・詰まり具合・プラーク(隆起性病変)の有無を確認します。
カルシウムスコアCT	心臓を取り囲む血管(冠動脈)の石灰化を測定し、動脈硬化の進行度を推しはかります。心筋梗塞など重篤な病気の可能性を予測する指標です。

■血液検査

血液検査各種	一般的な検査項目に加え、動脈硬化・骨の代謝・ホルモン・内分泌に関する項目なども詳しく調べます。
腫瘍マーカーセット (10種)	がんの早期発見を目的とした血液検査です。がん細胞が作り出す物質を測定します。
LOX-index®	動脈硬化による脳梗塞・心筋梗塞のリスクを調べます。この検査で得られる数値は、今後10年以内の脳梗塞・心筋梗塞の発症に大きく関連します。
ピロリ菌	血液で、ピロリ菌に感染しているかどうかを調べます。ピロリ菌は胃がんなど胃の疾患のリスクを高めます。日本・中国をはじめとした東南アジアではピロリ菌感染率が高く、胃がん死亡率との関連も知られています。
G6PDスクリーニング検査	G6PD(グルコース6リン酸脱水素酵素)という酵素が遺伝的に欠けている体質かどうかを検査します。まれな体質ですが、酸化ストレスに弱く、通常は適度の酸化ストレスとなるものでも溶血性貧血(赤血球がダメージを受けて壊れることによる貧血)を起こすことがあります。

■ 頭頸部

頭頸部MRI・A	微細な変化までうつすことができるMRIで、頭頸部(頭～首)を撮影します。さらに血管を立体画像化して、脳と血管の状態を詳しく調べます(MRA)。
----------	-------------------------------------------------------------------------

■ 甲状腺

甲状腺超音波検査	首にある甲状腺に超音波をあて、甲状腺の大きさ・病変の有無などを検査します。バセドウ病などの甲状腺機能亢進症・橋本病などの甲状腺機能低下症・甲状腺嚢胞・甲状腺腺腫などを調べます。
----------	------------------------------------------------------------------------------------------

■ 呼吸器

肺活量	肺の容積や、空気を出し入れする換気機能を測定します。喘息やCOPD(慢性閉塞肺疾患)など、肺の病気の有無を調べます。
胸部CT	128スライス列のCTで肺を撮影し、専門医による読影に加えて、特殊なシステムで解析します。肺がんやCOPD(慢性閉塞肺疾患)などを調べます。

■ 乳房

マンモグラフィ (3D) ※女性のみ	従来の2Dとは異なる3Dのマンモグラフィで、乳腺の状態を調べます。一般的な2Dの検査では単一の画像しか撮影しませんが、3Dではさまざまな角度から撮影し、乳腺の影に隠れている病変も高い精度で確認することができます。
-----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ 消化器

胃仮想内視鏡 (胃部CT)	胃カメラを飲み込むよりも、身体への負担が少ない検査です。発泡剤を飲み胃をふくらませた状態で、CTの撮影を行うことで、身体の中にカメラを入れたかのようなリアルな3D画像で、胃を細部まで確認することができます。また、肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓などの状態も同時に確認します。(発泡剤をお飲みいただきます)
大腸仮想内視鏡 (大腸CT)	内視鏡の挿入をせずに、細く柔らかいチューブを肛門から10cmほど挿入し、二酸化炭素ガスを入れてCTの撮影を行います。『胃仮想内視鏡CT検査』同様、リアルな画像で細部まで確認することができます。

■腹部

内臓脂肪CT（臍周囲）	へその高さをCTで撮影し、内臓脂肪の面積を測定。メタボリックシンドロームのリスクをチェックします。
MRCP（胆管膵管撮影）	肝臓・胆管・胆嚢・膵臓について、MRIを用いて詳しく検査します。MRIの高精度な検査によって、他の臓器の奥に隠れて異常を発見しにくい膵臓の検査まで行うことができます。（飲みやすい水溶液を造影剤としてお飲みいただきます）
前立腺MRI ※男性のみ	3.0T(テスラ)のMRIで、前立腺を撮影します。鮮明な画像による検査で、前立腺がんの早期発見に貢献します。
女性骨盤MRI ※女性のみ	子宮筋腫・子宮内膜症・卵巣嚢腫をはじめとする女性特有の病気を検査することができます。内診に抵抗がある方や、内診で痛い思いをしたことがある方におすすめです。

■全身

全身MRI(DWIBS)	MRIで全身を撮影する、がんの早期発見を目的とした検査です。現在最もがんの早期発見に役立つといわれるPET-CTと同じように、画像検査によって小さながんの早期発見につながります。PET-CTやCTによる検査と異なり、検査時の被ばくがないこともこの検査の利点です。（造影剤は使用しません）
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■体組成

DXA （デキサ・X線骨密度測定）	全身・腰椎・股関節の3部位を検査して、骨密度に加え、部位ごとの脂肪・筋肉・骨量を測定します。骨粗鬆症の早期発見につなげるための検査です。
----------------------	----------------------------------------------------------------------

■エイジングスコア

酸化ストレス測定検査 （8-OHdG） ※尿検査	酸化とは、健康な細胞を傷つける活性酸素によって身体がサビついてしまうことです。活性酸素によって傷ついた遺伝子の断片を尿中を用いて解析し、身体全体の酸化ストレスの度を測定します。
酸化ストレス測定検査 （OS-Aptest） ※血液検査	血液を用いて、現在の酸化ストレスと抗酸化力を測定します。活性酸素によって受けたダメージを測定することにより、体内の酸化ストレス度を分析します。

■エイジングスコア

体内糖化度検査 (AGE)	「最終期糖化生成物(AGEs)」という「焦げつき」物質が蓄積すると、肌・骨・血管・臓器などの老化が進み、がん・脳卒中・心筋梗塞などを引き起しやすくなります。この検査では、AGEsの蓄積量(糖化度)を調べ、全身の健康がどれくらい脅かされているかを測定します。
オリゴスキャン (メタル分析)	身体の中の有害重金属を測定する検査です。大気汚染物質(PM2.5)や海洋汚染が問題視されている昨今、原因がよくわからない不調に害重金属が関与している可能性もあります。

■カウンセリング

食事・運動カウンセリング	後日、検査結果をもとにした生活改善のアドバイスをいたします。食生活の改善方法や日々の生活に取り入れていただきたい運動方法などとともに、オーダーメイドのサプリメント(別途費用)も提案いたします。
--------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------